

おおづまち議会だより OZU

2025
113号

今月の定例会は

12月 3月

9月 6月

本会議動画
配信中



議会だよりが
読めるアプリ
マチイロ



ジュニアリーダー夢議会が開催されました！
中高生ならではの視点で、鋭い質問やアイデアが飛び交っていました。
詳細は、17、18ページに特集しています♪

議員の賛否を公開します

上程された議案・概要	坂本典光	岩下隆史	中山重之	清原さおり	大塚勝二	村山龍一	大村裕一郎	田代元氣	時松智弘	面川秀貴	大塚益雄	三宮美香	山部良二	山本富二	豊瀬和久	佐藤真二	賛成○	反対●
大津町議会議員及び大津町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例について	—	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14	1
ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかための、2026年度政府予算に係る意見書採択の請願	—	○	○	○	●	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	12	3
日本政府に核兵器禁止条約の参加・調印・批准を求める意見書採択についての請願	—	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	5	10
少人数学級・教職員定数の改善に係る意見書の提出について	—	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	8	7
総合体育館空調備電気工事請負契約の締結について	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14	1

※議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。賛否の分かれた議案のみ掲載しています。

■賛否表 ○は(賛成) ●は(反対) ●は(棄権) 欠は(欠席)

その他の議案については議会ホームページをご覧ください。

大津町議会 検索

本会議動画配信



議員の視点

(本会議での質疑の一部を抜粋して掲載しています)

山本 富二 議員	問 選挙ポスター掲示板数が98ヶ所あるが、掲示板数と設置場所は適正か、見直す時期に来ているのではないか。	答 ポスターの枚数は法で決められている。掲示板の場所は、色々な意見を聞き、危険な場所や見づらい場所は、場所の配置を変えている。
佐藤 真二 議員	問 下水道処理場の運営委託費が大幅増の見込みだが、これまで委託先の選定では1社応札が繰り返され、選定に価格面の評価項目もない。経済性が発揮されていない。	答 複数の応札があるよう条件を検討し、価格評価を盛り込む方式も当然考えていきたい。
山部 良二 議員	問 地方公共団体情報システム標準化はシステムを新たに導入することであるが、開発センターの人材確保やコストの高止まりの懸念はないか。	答 標準化については、近年の物価上昇導入移行に伴うコスト負担が大きくなっており先行自治体の例を見ながら円滑な移行を目指す。
豊瀬 和久 議員	問 昭と国東側の橋梁と東側駐車場の再整備はどのような工事なのか。	答 橋梁は点検により腐食などがみられたため補強や防錆処理、塗装、劣化している部材の交換などの補修工事を行う。東側駐車場は出入口の改修や大きな木の伐採などの整備を行う。
田代 元氣 議員	問 プレミアム商品券について、プレミアム率に対し事務費がかかりすぎている。電子決済などのデジタル化を検討すべきではなかったのか。	答 デジタル化については意見を頂いているがインシャルコストや活用できない層があるなどの課題があるため、アナログではあるが商品券としている。
時松 智弘 議員	問 補正予算の質疑で下水道事業入札は、広く応札できる制度にすべきと指摘があったが可能なのか。他社の参入など本当にできるのか。	答 下水道事業は高度かつ専門的な知識・技術を求められる事業。参加できる事業者がかなり限られる。その事をふまえて入札の在り方は検討する。
岩下 啓史 議員	問 ビジターセンターに冷水機を設置するための資金として、ほぼ、全額が寄付金で賄われている。この寄付金に至った経緯はどのようなものか。	答 ビジターセンター利用の中高生に水分補給の冷水機などを置くことができないか考えた。その趣旨にご賛同された企業から寄付をいただいた。
村山 龍一 議員	問 大津町後期高齢者医療特別会計補正予算で、子ども、子育て支援金の予算を計上するのはなぜか。	答 子育て世代を支える仕組みとして、すべての国民が加入している医療保険の保険料と合わせて支援金を徴収する制度が導入されるため。
三宮 美香 議員	問 体育施設費の屋外テントの予算は何張分か。突風により破損とあるが、けが人はいなかったのか。状況説明と今後の対策は。	答 テントは2張分。サッカー大会中に突風が発生し、飛ばされ全体が大きく破損したため購入。人的被害はなかった。今後も安全管理に努める。
大塚 益雄 議員	問 交通安全対策事業で、カーブミラーの設置や区画線の修復など、だが、どのように推進し、交通安全対策はどのように進めているのか。	答 白線については、各行政区、交通安全プログラムと各学校からの要望を精査し、町が予算化して優先順位を決めて行っている。

3

議会の流れ



令和7年度9月補正予算



9月定例会は、9月3日から22日の20日間の会期で開催され、町長提案の一般会計をはじめとする条例5件、補正予算8件、決算認定9件、その他1件、最終日に追加された契約2件、人事案件2件の計27件が審議され、可決されました。

また、一般会計では11億円が増額補正され合計197億1922万3千円となりました。

一般会計補正内容（抜粋）

物価高騰対策について

・LPガス使用世帯補助金 **2,277万3千円**
 ・大津町プレミアム商品券事業業務委託 **988万1千円**

※上に挙げた予算以外にも特別会計含め様々な事業予算が上程され可決となりました。

決算審査の結果

審査の対象とした令和6年度一般会計の歳入歳出決算書、歳入歳出事項別明細書、実質収支に関する調書並びに財産に関する調書の計数は、関係諸表・証拠書類の計数と符合し適正に調製されていることが認められ、法令等に反するような正助告・指摘事項はなかった。

令和5年度決算における不用額は、約6億5,415万円であったが、令和6年度における不用額は、13億3,748万円と増大している。この増加要因については、駅周辺バス転回広場整備事業や道路新設改良事業などの事業執行残、また、大津中学校長寿命化改修事業に伴う入札残などであり、事業進捗については、予定通り進んでいる。

一方、財政構造の弾力性を示す指標として、「経常収支比率」がある。基準財政需要額が対前年比2億1,464万1千円増加、また、基準財政収入額も1億5,782万1千円増加となったが、主たる自主財源である地方交付税（普通交付税）が3千484万円、臨時財政対策債の発行可能額が4,426万6千円と減額となったため、経常収支比率は90.5%となり、前年度から0.6%上昇した。国の指針として、町村における経常収支比率は75%以下が望ましいとされているが、県内45市町村の平均は88.2%（令和5年度熊本県決算）であり、一つの指標としてはやや高い傾向にあり、その要因を分析し今後の推移を注視していく必要がある。

文教厚生委員会から発意第1号小人数学級・教職員定数の改善に係る意見書が提出された。意見書の内容は、学校現場では、貧困、いじめ、不登校、教職員の長時間労働や未配置など、解決すべき課題が山積みしており、子どもたちの豊かな学びを保障するための教材研究や授業準備の時間を十分に確保することが困難な状況となっている。ゆたかな学びや学校の働き方改革を実践するためには、加配教員の増員や少数教職員の配置増など、教職員定数改善が不可欠である。令和3年の法改正により、小学校の学級編制標準は、令和7年度までに35人に引き下げられ、中学校においては令和8年度から引き下げられる方針となっており、すがきめ細かい教育活動をするために、さらなる学級編制標準の引き下げ、小人数学級の実現が必要である。よって、国会及び政府におかれましては、地方教育行政の実情を十分に認識され、地方自治体計画的に教育行政を進めることができるように、下記の設置を講じられることを強く要望します。

定例会総括

委員会レポート

一般質問

研修報告／意見交換会

ジュニアリーダー夢議会

2

町の安心と運営を支える

総務
委員会
レポート町の未来へ繋ぐ
財源から防災・

窓口の様子

窓口業務の効率化や人件費とサービス向上について

Q 人件費が増加しているが、窓口業務の民営化を検討しているのか。

A 窓口業務の民間委託について、行財政改革として検討中。住民課窓口などで委託を導入した場合の費用対効果やコスト削減の可能性について、現在整理を進めている状況。

意見 民間に任せられる業務は積極的に委託することで、職員は業務に専念でき、住民サービスの向上につながる。職員の人事異動を減少させることによって専門性が高められるよう、具体的な取り組みを進めてもらいたい。

環境まで幅広く審議



各種ゴミ袋を導入を開始

Q 町財政の確保に向け、公共施設への広告掲載やネーミングライツ導入の可能性を検討すべきではないか。収入増につながる取り組みをどう進めるか。

A 広告収入は実施しているが、今後も対象拡大を図る。さらに、施設のネーミングライツについては本年度内の導入実施に向けて準備を進めている。

広告収入拡大とネーミングライツの検討は

若者の投票率向上へ。若い世代に届く工夫を

Q 選挙に関心を持ち、参加してもらうために、町として若年層への啓発はどのように行っているのか。

A 明るい選挙推進協議会と連携し、選挙ごとにイオン大津店やイベントなどで啓発活動を実施。また、中学校や高校で選挙の出前授業を行い、模擬投票などを通じ、選挙への理解を深めてもらう取り組みも行っている。



出前授業で選挙について学ぶ学生



空港ライナー

空港ライナーの利用促進へ

Q 空港ライナーを利用して肥後大津駅にきた後、飲食や買い物などをされているかの把握や分析は。

A 利用実績は把握しているが、宿泊や買い物などといった行動をしているかなどは把握できていない。

意見 以前は空港ライナーの車内で大津町の紹介ビデオが流れていた。これだけ利用者が増えているため大津町のPRや交流人口を増やすなど、町民のためになるような運営を行ってほしい。

消防団員確保へ広報と支援強化へ

Q 消防団員のなり手不足が深刻であり、地域防災力低下が懸念される。町として団員確保や活動支援をどのように進めていくのか。

A 広報活動ではインスタグラムを開設した。今後も活動しやすい環境整備や団員への支援を充実させ、地域防災力の維持を図る。



女性団員の活動にも力を入れている



日向川での検査の様子

水質検査を継続し安心・安全を守る

Q 糞尿処理における高度汚水処理の*硝酸態窒素含有率が100mg/L以下となっているが、水道法の基準(10mg/L以下)との差がある。排水時の基準はどうなっているか。また、水質検査を年一回とする根拠はあるのか。

A 排水基準は水質汚濁防止法に基づき100mg/L以下であり、その基準に沿って排水する計画である。測定頻度は同法で年1回以上と定められており、近隣からの問い合わせがあれば菊池保健所と連携し追加検査も可能である。

*硝酸態窒素は植物の生育に不可欠な栄養素。発がん性物質を生成するリスクが指摘される物質

くらしと産業の土台を創る 経済建設 委員会 レポート

ひと きぎょう 人・まち・企業が



下水道処理施設 増設予定(赤)

Q 令和15年に予定している下水道使用料の改定(値上げ)について説明を。

A 令和10年・15年に段階を追って改定が必要と見込んでいる。人口増などにより下水道の収入は増加するが、水処理施設などの整備を進めることにより、減価償却費が令和16年度に現在より3億円増加するため使用料改定が必要状況である。

下水道使用料の改定は

Q 菊陽で原水駅から運行しているセミコンバスは定期券が使用できるが、今回のバスでも使えることをほとんどの人が知らないのではないかと。今後の周知方法を。

A 渋滞対策の一環として実施する通勤バスは定期券の利用ができる。

周知は「広報おおづ」や町のホームページなどで行う。



詳しくは広報おおづ10月号

誰でも使える通勤バスへ



活用を進めたい町営住宅

Q 企業連絡協議会が、町内の高校への企業ガイダンスなど人材確保の取組みをされているが、採用実績はどうか。また、町営住宅の空いている高層階を企業が借り上げ提供できれば人材確保につながるのではないかと。

A 翔陽高校の卒業生の半分が就職者。その中で県内就職が8/9割で、そのうち2割程度が町内へ就職している。町営住宅は入居基準に基づいているため、企業の活用については担当課と協議する。

町営住宅利用で 企業の人材確保を

あら うご つながる新たな動き

マイボトルへも対応の冷水機です。手持ちの水筒やペットボトルに給水できます。



冷水機 イメージ

Q ビジターセンターに冷水機が設置されることになった経緯は。

A 給水機の設置に向けて検討を行っていたところ、企業から寄附の申し出があり、今年度で設置することとしたもの。

ビジターセンターに 設置される冷水機

Q ビジターセンター駐輪場の案内業務が予算として出ているが、説明を。根本的な解決は駐輪場の増設ではないか。

A 西側駐輪場の許容は20台程度だが、実際は倍以上の自転車が増えており、点字ブロックの上まで停めてある状況。15日間、案内業務の実証実験を行い整頓して駐輪する意識づけを行う。

今後は設備面での投資も検討する。



駅南口 西側駐輪場

ビジターセンター駐輪場の 今後は



詳しくは広報おおづ10月号背表紙

Q デジタル商品券やポイント還元が一般的になってきた。今回キャッシュレスになかった理由は。

A デジタル化の必要性は感じているが、キャッシュレスを使えない人もいたため紙の商品券とした。

今後は様々な方法を比較しながら検討する。

プレミアム商品券

教育・子育て・福祉を所管する

文教厚生委員会レポート

ちょうみん ようぼう いけん 町民の要望や意見を



昭和園隣接の道

子育て支援拠点整備事業は
Q 整備事業の住民説明状況は。また、昭和園隣接の通学路に信号機や速度制限の要望はなかったか。
A 在園児保護者向け説明会を今年3月と8月に、町民対象説明会を8月22日に実施した。また、昭和園入り口の道路沿いの住民へは個別に訪問し説明を行っている。その中で、防犯面や交通安全の意見をいただいている。信号機の要望はなかったが速度制限の要望はあった。今後も安全対策を考えていく。

Q 日本語に困難を抱えている児童生徒に対する支援はどうしているか。
A 町内の小中学校において今年の7月時点で外国籍を有する児童生徒は28人、そのうち日本語指導が必要な児童生徒は19人。日本語指導についてはNPO法人に委託しており、個人のレベルに応じ、週に1〜2回程度指導している状況。

日本語指導が必要な児童生徒への支援



児童生徒を校内盗撮から守る
Q 活動を撮影する専用のカメラを購入することだが、児童生徒にも専用カメラであることを教える必要があるのではないか。また、校内に隠しカメラがないかの確認をしているか。
A 校長会にて教師が使用するカメラの形状を児童生徒に周知するように依頼したいと考えている。隠しカメラについては、7〜8月に学校に通知を出している。点検を週1回程度実施、また、教室などを整理整頓し、カメラなどを設置できないような環境整備を行うことなど依頼している。



学校使用カメラを明確に

ていねい す あ よ じぎょう 丁寧な吸い上げ、より良い事業を



生涯学習センター東側駐車場

生涯学習センター東側駐車場整備
Q 同センターの駐車場整備は、砂利の穴を整備するのか。アスファルト舗装にすれば、何度も整備をしなくて済むのでは。
A 今回の整備は凸凹した表面に補充材を入れ、全体を敷きならすもの。アスファルト舗装は多額の費用を要するため、今回は緊急的な対応としている。アスファルト舗装については今後、発注している同センター改修基本構想策定業務委託の中で検討していく。

非常用電源、効果は十分か
Q 老人福祉センターの非常用電源を、無停電電源装置(UPS)にする必要があったのか。また、バックアップが100分程度とのことだが、非常用電源として十分なのか。
A 蓄電池への変更も検討したが、電源盤改造などに費用がかかり、メーカー保証も得られないことから、UPSで容量を増やすことにした。非常時は役場にある発電機を持つてくるため、その間をUPSでつなぐことを想定している。



老人福祉センターの非常用電源



マイナ保険証の利用率は
Q マイナ保険証の利用率は増えているか。
A 8月末時点でのデータでは大津町国保加入者の約40%の受診がマイナ保険証利用である。
意見 マイナ保険証を利用することで、受診履歴を確認することができ、適正受診につながることもあるため、利用率を上げるための対応を検討してほしい。

Q 肥後大津駅周辺整備計画はどうか

A 空港アクセス鉄道を見据えて整備を行っていく

【写真提供】 肥後大津駅周辺まちづくり基本計画（国）より抜粋



むらやま りゅういち
村山 龍一議員



Q 肥後大津駅は開業し110年となる。阿蘇くまもと空港アクセス鉄道が、肥後大津ルートとなった。これは、100年に一度のチャンスである。肥後大津駅の整備、駅を抜ける南北道路の整備や駅周辺開発をどうするのか。地元への説明会を行うのか。老人福祉センターを肥後大津駅周辺整備で建て替え総合福祉センターにするなどの考えはないのか。大津中央公園が阿蘇くまもと空港アクセス鉄道のルート

になると思われるがどうするのか。

A 肥後大津駅周辺の整備は、肥後大津駅周辺まちづくり基本計画の中で空間像や施設の機能を整理し、経済効果や住民生活の向上につなげ、空港アクセス鉄道を見据えた計画である。南北道路は空港アクセス鉄道の詳細の調査を行う。今回の駅周辺整備は、10年間の開発計画で、将来の可能性として区画整理事業も見据えている。説明はまちづくり懇談会の中で行う。老人福祉センターは、総合福祉センターとして整備を検討する。大津中央公園は、機能の維持が必須だと考えている。（町長）

その他の質問

・「企業誘致のための用途」について

Q 教職員不祥事防止策を問う

A 他の自治体を参考に早期から対策している

おおつか かつじ
大塚 勝二議員



1. 教職員の不祥事対策について（児童・生徒への被害等）

- ・2023年度は性犯罪・性暴力で処分された教員が初めて300人超
- ・児童生徒への被害者は増加傾向
- ・早期発見と体制整備が急務

出典：毎日新聞（2024年8月20日）



その他の質問

- ・予防医学と検診案内のガイドライン整合性について
- ・町民サービスと向上と窓口業務の改善について

Q 全国で教職員による性犯罪や性暴力が増え学校への信頼が揺らいでいる。大津町では大きな事案は少ないが予防の仕組みはまだ十分ではない。私は五つの提案をした。

A 国や県からの通知・ガイドラインを踏まえ、町でも早期から対策をしている。今後も児童生徒が安心して学べる学校づくりを全力を尽くしていく。（教育長）

一般質問 町政を問う 9月定例会／一般質問に16名中13名が登壇

Q 乗合タクシーの運行エリアを拡大すべき

A 令和8年4月から運行エリアを拡大する

とよせ かずひさ
豊瀬 和久議員



Q 居住地域の違いにより、乗り合いタクシーが利用できる人と、できない人がいるのは不公平な状態なので、一日も早く全ての町民が、特に高齢者や障がいがある方などを、住んでいる地域で区別せず、乗り合いタクシーを利用できるようにエリア拡大をするべきだ。

A 既存の公共交通との役割分担を改めて整理し、交通事業者などの継続的な協議を進めている。令和8年4月からは運行エリアを拡大し、町全域が、町中心部または周辺部のいずれかの運行エリアに含まれるように取組を進めている。こうした取組を段階的かつ着実に進めること、安心に利用できる公共交通ネットワークの確立を目指していく。（町長）

その他の質問

- ・免許返納事業について
- ・介護予防型ミニデイふれあい事業について
- ・まちづくりの方向性で示された産業誘致エリアのインフラ整備について
- ・災害時の避難所となる学校体育館の空調エアコン整備について

Q ふるさとの宝、清正公道復元と文化財保護を

A 文化財保存活用地域計画を作成し整備する

ときまつ ともひろ
時松 智弘議員



歴史と文化が香る阿蘇市豊後街道区間

Q 阿蘇市が整備を行った豊後街道の石畳区間は当時の面影を色濃く残し、かつて石畳の普請を行った岩坂村の文字石も遺されている。大津側の清正公道はこうした場所が少ない。

A 加藤清正が整備した清正公道は、かつて宿場町として栄えた本町の歴史と文化を語る上で重要な史跡である。阿蘇市の整備区間が観光スポットとして好評と承知している。他方、本町では歴史的景観を残す場所が少ないので、これらの地域資源をまわって次世代への継承を目指す。今後は文化財保存活用、地域計画の策定を進め、様々な文化財を通して町民の皆様が次世代を担う子どもたちが郷土の歴史を知り、学び、後世に継承していく大切な宝として誇りを持ってもらえるよう取り組む。（教育長）

その他の質問

- ・町民の国家資格などの取得支援補助を行う考えはないか
- ・リチウムイオン電池発火事故に関する安全対策について

各校区の防災計画は

A 避難所運営を具体化へ



きよはら
清原 さおり議員



Q 近年、風水害や地震の発生が相次ぎ、学校施設が避難所となる際の備えが重要になっている。避難所には複数の行政区から住民が集まり、教室利用や冷暖房の確保など柔軟な対応が求められる。校区ごとの防災計画の進捗状況と教室利用の位置づけについて問う。

A 町はこれまで自主防災組織の設立支援や地区防災計画の推進に取り組んできたが、策定済みは7地区にとどまっている。校区単位の防災計画は未策定であるが、避難所運営マニュアルに追記する形で、各小・中学校の建物や設備に応じた避難所運営の方法を事前に整理周知し、各学校施設の防災対応を具体化していきたいと考える。避難生活が長期化する場合でも地域住民と連携し円滑に運営できるよう取り組む。体育館に空調がない現状も踏まえ、教室などの柔軟な活用についても関係者で協議し、災害の規模や気象条件に応じた対応を検討する。

(町長)

その他の質問

- ・町公式SNSの情報発信拡充と利活用促進について

中央公園・高尾野森林公園の管理と今後

A 計画的な管理と設備投資



さんのみや
三宮 みか議員



Q 町管理施設である中央公園は芝生が雑草だらけで管理が行き届いていない。高尾野森林公園は駐車場周辺に実のなる木がそのままの状態で鳥獣被害を招きやすい環境。不法投棄もある。トイレも不具合や部品欠損が放置されており、使い方が分かりにくい。現状把握・評価・改善方法・今後の利用方法など、どう考えているのか。

A 中央公園と高尾野森林公園についての課題は認識している。芝生は猛暑・渇水で作業制約があり、年8回刈込や除草を計画的に実施している。今後は夏季に重点を置いた作業の強化や住民意見を反映できるようにする。森林公園は節水型泡洗浄トイレを週1回点検、案内表示を強化し将来的な設備投資も検討中。ボランティアと連携し快適な公園環境づくりを進める。

(町長)

その他の質問

- ・水泳授業の民間委託およびスポーツの森（町総合運動公園）へのプール建設計画について

県営野球場の誘致は本町が最適地である

A 効果と課題の双方を充分に見極めたい



リブワーク藤崎台球場

たしろ げんき
田代 元氣議員



Q 熊本県は、リブワーク藤崎台球場について移転再整備が妥当との検討会議の提言を受け、9月定例会で方向性を表明すると発表した。前回の質問で町長は、メリット・デメリットを整理し、誘致が町民の幸福に資する場合は積極的に誘致に取組むと答弁を行った。現在、菊陽町が積極的な誘致を表明しているが、交通の利便性や宿泊施設の充実など本町が最適地であると考えられる。

A 野球場の誘致は経済効果や地域交流、観光振興の契機になると考える。しかし、本町でも開発が加速する中、インフラ整備による財政負担や渋滞の深刻化といった課題は解消できていない。県や他の自治体の動向を注視しつつ、住民の生活を最優先に考え、スポーツ環境の向上、地域経済の活性化を考え、慎重に判断したい。(町長)

読者意見 菊陽町に移転して宿泊客を呼び込むなど、連携をお願いする。

その他の質問

- ・町内体育施設の整備について
- ・子育て支援拠点設置に伴う周辺道路の安全対策について

アクセス鉄道中間駅建設で均衡ある発展は

A 中間駅を設置し商業施設や住宅開発をする



やまもと ふじお
山本 富二夫議員



Q 町長は2024年の大津町まちづくり町民懇談会で中間駅をうたわれている。中間駅構想ではその周辺に商業施設や住宅開発や道路などのインフラ整備を言われた。その地域が農家にとって大事な農地であり、農家に寄り添った対応策を問う。

A ①利用面積は何ヘクタールを見込んでいるのか ②農地の区画整理を考えないのか ③地下水涵養はどうするの か

A ①については、中間駅を設置し商業施設や住宅開発を呼び込み、南部や町全体の発展につなげる。一定の広がりをもつ開発になると想像する。②については、農地の大区画化は今後の農業の持続的な発展に資する可能性があるものと考え、地元農家や関係機関との連携が必要だと考える。③については、地下水涵養の低下を未然に防ぐのは重要な、浸透式の調整池、公園や緑地と二休化した整備を考える。

(町長)

その他の質問

- ・地球温暖化が進む中で、白川と矢護川水系の農家は干ばつに苦しんでいる
- ・立野ダムによる流水等の被害に町はどう対応策を講じるのか

Q 農業用水路の補修が必要ではないか

A 安心して営農できる環境を確保していく



おおむら ゆういちろう
大村 裕一郎議員



Q 大津町では日照りが続くなどの状況が頻発し、常習化してきている。竜門ダムの水も、平年は95%程ある貯水率も今年は57・4%まで低下するなどの状況にある。日照りが続けば農業への打撃は計り知れない。これを少しでも緩和するため、農業用水路の漏水を計画的に補修し、それを支援していくべきではないか。

A 本町は、阿蘇山系を水源とする白川とそれに連なる農業用水路網により、古くから稲作を中心とした農業が営まれてきた。これらの水路は農業用水の供給にとどまらず、地下水涵養を通じて、熊本都市圏全体の水資源の安定にも寄与する重要な存在である。こうした水資源を守るため、緊急的な漏水対応とあわせて、老朽化が進む農業用水路の計画的な補修を推進することが必要だと考えている。

今後も、県や土地改良区と緊密に連携し、中長期的な視点で、農業従事者の皆様が安心して営農できる環境を確保していく。（町長）

その他の質問

- ・農作業中の労災について
- ・人口減少している地域について
- ・避難所の開設について

Q ホテル事業者との連携による地域活性化について

A 現時点では、無理



大津町 企業振興課より提供

にしかわ ひでつぐ
西川 秀貢議員



Q 現在、実証運行中の通勤バスの一部を町内の既存ホテルや新規開業した宿泊施設を経由するルートに変更し、追加することはできないか。宿泊者の町内回遊を促進し、地域経済の活性化につなげるべきではないか。宿泊税の活用を待っているも、いつの事になるかわからない。宿泊施設内での町のPR活動や、観光利用客への食事券、観光特典の配布などを組み合わせる事で飲食店や商店街との連携も生まれ、地域経済の波及効果が生まれる。後手後手にならないような対策をするべきである。

A 通勤車両の軽減が最大の目的であり、利用者の迅速性を重視して設計しているため、宿泊施設を経由する案については、町内のホテルが分散していることから、公平に經由するのは難しく、運行ルートや乗降場所の確保など、いくつかの制約があるのが実情、そのため、現在のルートに落ち着いた。現在改めて事業者や宿泊者へのアンケート調査を準備している。宿泊税の活用も視野に入れ、宿泊者の利便性が高まり、町の経済の更なる活性化につながるような方策を引き続き調査研究していく。（町長）

その他の質問

- ・TSMC 関連の進出による本町においての波及効果と現状について

Q 高齢者向けの支援制度の充実を

A 補聴器とエアコン購入の助成制度は重要

いわたし けいし
岩下 啓史議員



Q 高齢化社会の中で、予防的な支援が求められている。近年補聴器とエアコンの購入助成制度が注目されている。日本の補聴器使用率は欧米より劣っており、難聴を放置することは難聴者の社会的孤立を高め、認知症へのリスクを増大させる。また、近年の熱中症による救急搬送者数の増加も問題であり、その多くは高齢者で、自宅で過ごしている最中に熱中症を発症してしまうことが非常に多い。高齢者の健康寿命を伸ばすために、補聴器とエアコン購入の助成制度を強く求める。

A 聴こえの衰えは閉じこもりや認知症リスクを高める重要課題であり、本町も補聴器の早期導入が生活の質向上や介護予防に有効と認識している。補聴器購入後のケアも必要のため、今後の対応を検討する。また、熱中症は生命にも影響を及ぼしかねない重大な課題である。高齢者にも安全な環境を整えるため、町内15か所にクーリングシールドを設置し、誰もが安全に避難できる環境を整備している。今後、福祉サービスの充実にもスピード感を持って取り組む。（健康福祉部長）

その他の質問

- ・佐賀駐屯地の陸自オスプレイ配備への町側の危機意識と管理について

Q 公共交通の輸送力強化について

A 豊肥本線の輸送力強化に向けて

やまべ りょうじ
山部 良二議員



世界渋滞ランキングワースト4位
日本渋滞ランキングワースト1位
熊本県の渋滞による経済損失
10年間で2兆8000億円



Q 国策により進められた、TSMC進出などによる渋滞緩和に向けて豊肥本線の輸送力強化に向けた協議会が開かれ、複線化などをJR九州に要望する方針が新聞などで話題になった。迅速性の向上などを求めるのは理解できるが、1000億から2000億円程度かかる複線化の具体的な検討をいち企業に求めるのは無理がある。国費により渋滞に苦しむ町民が望む豊肥本線複線化を国に要望するべきだ。

A 本町としては、空港アクセス鉄道の中間駅構想も合わせて、県や沿線自治体が一体となって、熊本都市圏における鉄道軸とした新たな都市作りを目指し、豊肥本線の輸送力強化に向けた取り組みの方向性や必要な政策等について「JR豊肥本線輸送力強化促進協議会」において協議を行い利用者の利便性の向上や輸送力、需要を見据えた方策として国の補助なども含め協議を深めていきたいと考える。（町長）

その他の質問

- ・若者・女性支援について
- ・豊かな学びの実現について

広報編集特別委員会 研修報告



そして、他にも記事を書く上で撮影の手法などもご講演いただきました。今回の行政視察を活かし、新たなことにも取り組みながらさらに議会の情報発信の精度を高めてまいります。

研修テーマ

1. 取材記事を広報誌に追加するための手法やメリット
2. 広報記事を動画で配信するメリットとその手法
3. 議会活性化と連動した広報誌づくり

令和7年8月28日に渋谷公会堂にて大津町議会広報編集特別委員会行政視察を行いました。研修では、「次号以降にインタビュー記事を取り入れてみる」をゴールと設定した上で、①題材を選ぶ、②取材目的を明確にする、③レイアウトと文字数の確認、④目的に合致した質問を準備、⑤当日取材をする、⑥書くの6つのフローを細かく説明いただきました。また、大刀洗議会の広報委員長の講演もあり、その中で例を挙げ、特にスケジュールは非常に過密に組まれており、本町の広報委員会においても実践してみようと考えます。

菊池地域市町議会議員 研修会レポート

研修テーマ

1. 半導体産業集積強化に向けた熊本県の取り組みについて
2. 菊池地域の渋滞対策について



8月7日（木）、菊陽町の日台会館で研修会が開催されました。

研修1では、1967年の三菱電機熊本工場進出以降、熊本が「シリコンアイランド九州」を牽引してきた歴史が紹介されました。TSMC進出後は関連企業の投資が加速し、地域経済への波及効果が期待される一方で、地下水保全、交通渋滞、農業との両立、人材育成などの課題にも対応が必要とされました。

研修2では「熊本県新広域道路交通計画」について説明があり、中九州横断道路の整備や渋滞解消への取組を学びました。今後、セミコン周辺で短期工事も予定され

新潟県刈羽村議会から行政視察



令和7年8月19日、新潟県刈羽村議会会派清政会が、半導体工業進出に伴う周辺自治体の状況を視察するため来庁されました。最初に、大津町の状況を説明し、「半導体工場進出と地域への影響」「教育・保育体制の充実に向けて」「農業とまちづくりのバランス」について意見交換を行いました。また、議員のなり手不足対策などの質問もあり多くの学びとなりました。今後他市の市町村議会との意見交換を行うことにより、大津町のまちづくりに活用したいと思っております。

ており、当町でも影響が見込まれることから、公共交通利用促進や交通分散など、ソフト面での取組を進めたいと感じました。

Q 空港アクセス鉄道の進め方について

A 説明会の予定はなし、情報共有にとどまる



なかやま なおゆき
中山 直之議員



03.住民の声 (県説明会より)



- 説明責任の確保
・地域住民のことを考えるなら、町から説明会を早急に行ってほしい
- 具体的懸念
・高架が通る道は一両取り取ってほしいと出る
・赤字になった場合、町が財政負担するのではないのか
- 安全性の疑問
・工場の自動化やAIの発展を踏まえた利用手段がなされていない・オンデマンド交通や自動運転など代替手段も考慮すべきだったのではないのか

町が住民の声に応える姿勢を明確にすることが求められている。

Q 県主導で進められる空港アクセス鉄道について、沿線住民からは農地への影響や騒音、長期工事への不安の声が多く寄せられていく。町が県にせにせず主体的に姿勢を示し、町民の声を直接聞く場を設ける必要があるのではないのか。鉄道は町の将来を左右する大きな事業であり、町としての立場と責任を明確にし、町民が納得して協力でき

A 前町長時代から県やJRへ意見を届けてきた。農地や騒音など生活環境への影響にも配慮を求めている。秋の町民懇談会で、知り得ることを伝えていく。(町長)

県主導で進められる環境を整えることが重要。そのために、アクセス鉄道のための説明会を行い、町民に丁寧な説明と協力をお願いする必要があるのではないのか。

その他の質問

- ・町有施設の利活用と住民活動への支援について

どうなったあのかの質問の行方



過去の一般質問や委員会審査で議員が行った町への提案が、実際にどのように町政に反映されているのかを追跡調査してお知らせします。

R6年3月定例会議会一般質問

質問

寮として公営住宅の貸出を学生寮の確保への支援策としてあげぼの団地の空室を提供できないか。

対策済み

答弁

令和6年11月、東海大学農学部生らを対象にあげぼの団地の入居ニーズ調査を実施した結果、条件付きも含め20名が入居を希望。現在、学生の要望に応じた条件整理を行い、国に目的外使用の計画案を提出して協議・回答待ちの状況。



あげぼの団地

最新の進捗状況(令和7年9月1日現在)

学生寮として使用する目的外使用の計画を国に提出して協議を重ねたところ、7月に承認が下りたため、今後、学生向けに説明を行う予定。

ジュニアリーダー夢議会を開催



8月6日（水）ジュニアリーダー夢（JLD）議会が開催され、大津町内の2つの中学校と3つの県立学校から10名が参加しました。

質問は町で生活・通学する中で感じた課題を、町の計画などに照らし合わせながら、若者視点で問題をとらえ、解決するためのアイデアが盛り込まれており、よく考えられている内容でした。

大津中央公園について

大津中央公園の利用のしづらさについて全校生徒にアンケートをとった。

1 駐輪場が分かりづらく芝生への駐輪が目立つので、公園の南側へ駐輪場の増設を提案する。
2 利用上のルールが明確でない。利用案内を広報や公式LINEなどを活用し発信してはどうか。

1 大変的確な指摘である。
より分かりやすい案内表示の工夫、利用しやすい場所への駐輪場の設置や動線の見直しなど検討を進める。
2 ルールを正しく、分かりやすく伝えることが大切だと考えている。案内の見直しを進める。「中学生がポスターを作って発信する」というアイデアは前向きで魅力あるものである。誰もが安心して使える公園に近づけるよう今回の提案を生かして取り組んでいく。

自販機への見やすい表示について、看板しか考えていなかったが、地面の表示があるとかわりやすかった。情報の伝え方についても話し合いを重ねてポスターを考えていけるといいと思います。私たちの意見がまわづくりに反映され、たくさんの方が楽しく公園利用ができると思います。



系永 心紘 議員 渡辺 実咲 議員

自販機への見やすい表示について、看板しか考えていなかったが、地面の表示があるとかわりやすかった。情報の伝え方についても話し合いを重ねてポスターを考えていけるといいと思います。私たちの意見がまわづくりに反映され、たくさんの方が楽しく公園利用ができると思います。

大津支援学校 肥後大津駅の利便性

支援学校の生徒の中で、電車やバスなど自力で通学した生徒からの意見を基に以下を提案する。

1 肥後大津駅に冷水機を設置してはどうか。
2 肥後大津駅で外国人に話しかけられ困った経験があることから、ディスプレイ型翻訳機の設置。

1 駅南口のビジターセンターは、大津町の所有であることから、10月にマイポトル対応の給水機を設置する予定である。北口の駅施設はJR九州の所有であるためJR側と協議を進めていきたい。
2 駅南口のビジターセンターでは、アプリを使っている多言語対応や、観光・交通案内を行っているが、案内所の存在が十分に周知されていないと気付かれた。翻訳ディスプレイなどの導入も含めて今後の駅整備の中で検討を進める。

冷水機は設置予定であるとの聞き、駅で水分補給ができるのは助かります。熱中症の予防にも繋がります。駅利用者にも安心・安全な環境づくりになると感じました。冷水機の設置が実現することは誰もが安心して駅を使える町づくりに貢献できたと思います。



山部 翔 議員 濱田 朱李 議員

冷水機は設置予定であるとの聞き、駅で水分補給ができるのは助かります。熱中症の予防にも繋がります。駅利用者にも安心・安全な環境づくりになると感じました。冷水機の設置が実現することは誰もが安心して駅を使える町づくりに貢献できたと思います。

翔陽高等学校

空き家の新たな活用方法について

質問 空き家の増加が社会問題になっている。より安心安全なまちづくりのために新たなアイデアが必要ではないか。

1 中高生などの若者やファミリーをターゲットにし「白川流域かんがい用水群」の一部である上井手用水でのラフティング体験や銅銭堀づくり体験。
2 海外からの移住者も含めた住居提供。
3 集会所として町民交流の場とする。

答弁

1・2 町が全ての空き家に対応するのは人手や予算の面で難しい。地域や民間会社などの力を借りて政策を進めている。「空き家バンク」「創業支援制度」など活用できる。
3 自然体験や文化体験を組み合わせた観光プログラムや「からいもの里」のような交流の場として生かすなど魅力的な提案だと考える。

感想

T S M C 進出により町の状況が変化しているが、過疎化が進んだ際には一気に空き家が増すと考えられるので早めの対策が必要だと思えます。予算も必要になる場合、クラウドファンディングなども柔軟に取り入れることも必要だと考えます。自分も知識を身に付けて課題解決できる人材になりたい。



中津 風雅 議員 岸田 依大 議員

大津北中学校

大津町の賑わいづくりについて

質問 大津町に足りないものや必要なもの

1 地域住民が「集う」「繋がる」施設や空間を作る。例えば肥後大津駅周辺にも映画館のような娯楽施設があるショッピングモールや公共性のある施設。
2 シェアサイクルサービス「チャリチャリ」の導入。
肥後大津駅を起点として様々な地域へ人の動きや賑わいが広がるエリアづくりに進める。

答弁

1 「人が集まり、つながることができる施設」は町としても必要だと考える。ただし店舗の建設や運営は民間会社なので、利益が見込めないと出店いただけない。大津町に出店したいと思ってもらえるような環境づくりに進める。
2 以前、チャリチャリの運営会社に導入の相談を行ったが民間企業は一定の利益や売り上げが見込めない限り進出は難しいため、大津町はサービス対象外とされている。

感想

T S M C 進出により、大津町周辺のニーズが変化している。より生活に身近で日常的に利用できる施設の必要性が高まっていることがわかりました。
チャリチャリの導入も、既に検討されたことと知り嬉しく思います。今後大津町の賑わいが広がります。大津町の賑わいが成長して行けば導入が見込めるかもしれません。



一瀬 琥珀 議員 赤星 瑠来 議員

大津高等学校

大津町の交通状況改善のための展望の確認
交通渋滞解消および町民の移動手段拡大への提言

質問 1 交通ルール遵守の呼びかけや道路インフラ整備などの多角的アプローチが必要。町の認識と将来的な展望を問う。
2 「大津まちなかバス」の今後の活用方法について①バスの本数を増やす考えはないか。②バスの運行エリアを隣町と繋げて運行する考えはないか。

答弁

1 ご指摘の課題は、町では「すぐに取り組める対策（ソフト面）」と「時間がかかるが根本的な改善につながる対策（ハード面）」の両方から進めている。複数の取り組みを組み合わせ、単なる一時的な渋滞解消ではなく「持続可能で安全な交通環境」づくりに努める。
2 まちなかバスは便数やルートを増やし利便性を高めてきたが、運転手不足や車両確保の難しさを克服。駅周辺を中心としたにぎわいづくりを進め持続可能な運行を実現できるよう運行業者と協議を続ける。

感想

新たに道路をつくりたり拡張するのは時間がかかりすぎるので、カーブミラーの設置やカラー塗装などで視覚的に交通意識を高めることも必要ではないか。
まちなかバスを知らない町民もいると思うので、需要拡大に向け積極的なバスの利用や広報活動が必要だと思えます。



安部 謙吾 議員 阿津坂 勇義 議員

議 会 を 観 て の 生 の 声

9月定例会の傍聴者数のべ79人、ライブ配信再生回数993回 録画配信再生回数234回(10/27時点)

大津町にとって「100年に一度」とも言われる大チャンス！



よしたけ ちづる
吉武 千鶴さん
(室)

全国的にも注目を集めている「肥後大津駅周辺まちづくり基本計画」に関する一般質問が行われるとのことで、商店街の仲間と一緒に、今回初めて町議会に行ってきました。

初めての議会傍聴でしたが、知っている方も多く、緊張の中にもどこか親しみを感じる空間でした。

駅前だけでなく、南北道路の整備や、老朽化が進む老人福祉センターを周辺整備の中に組込む考えがあるのか、さらに空港アクセス鉄道のルート候補に含まれる中央公園の今後など――。

これから町がどのように変化していくのか、とても興味深く拝聴しました。

特に駅ビル建設については、私のダンススタジオが駅前にあることもあり、整備計画の範囲に含まれているのか、どのような形で進むのか気になっていました。

これから詳細が詰められていく段階だと思いますが、せっかくの大きなチャンスを活かし、町民にとっての利便性向上と、国内外からの観光客誘致の両面でワクワクするような開発が進むことを願っています。

あなたの声を
聞かせてください！

気軽にアンケートにお答えください

議会だよりのウェブアンケートを実施します。右の二次元コードをスマートフォンなどで読み取っていただき、設問に答える方式でいつでも簡単に送信することができます。ぜひお気軽にアンケートにお答えください。いただきましたご意見を参考に、誌面の更なる充実に取り組んでまいりたいと思います。



次回定例会は

12月4日(木)開催予定

(日程は変更になる場合があります)

日程 12月4日(木)～18日(木) (予定)

会場 庁舎 4階 議場

議会広報編集特別委員会

編集 (委員長) 大村 裕一郎 (副委員長) 清原 さおり
(委員) 三宮 美香/村山 龍一/中山 直之

発行責任者: (議長) 坂本 典光

令和7年11月17日 第113号 発行/熊本県菊池郡大津町議会
編集/議会広報編集特別委員会 印刷/株式会社キャップ

〒869-1292 熊本県菊池郡大津町大津1233 ☎(096) 293-8989

●●●● 編 集 後 記 ●●●●

大津町はTSMC進出を契機に、工業団地整備や空港アクセス鉄道、肥後大津駅周辺整備など、大きく変化してきています。町の発展とともに、議会としてもその動きをしっかりと見届け、議論を深めていく責任があります。

議会だよりの、そうした変化や議会の取り組みを町民の皆様にはわかりやすく伝えることがますます重要になってきました。限られた紙面の中で、どれだけ多くの情報を正確に、そして親しみやすく届けられるか、編集委員一同、悩みながらも工夫を重ねています。

これからも「読みやすく、わかりやすい議会だより」を目指してまいります。
(三宮美香)